

請 願 書

鳩山由紀夫内閣総理大臣殿

年 月 日

日本解体法案である「CO<sub>2</sub> 25%削減」について反対いたします。

【反対理由】

1) 多くの学者が「地球温暖化の主因は二酸化炭素」という説に異論を唱えている

- ・ 二酸化炭素の増加量は年間1.4ppmほどでしかなく、1ppmでの温度上昇効果は0.004℃である。
- ・ 化石燃料使用量が急速に伸びた1940～1970年頃は、気温は逆に下がっている。
- ・ 自然界には「緩衝効果」があり、気温を上昇させる現象が起きた時、逆に上昇させないような現象が起きる仕組みがある。

上記3点の精査無く「CO<sub>2</sub> 25%削減」を推奨するのは早計である。

2) 国内経済に与えるダメージが甚大である

現在、日本の経済を牽引しているエネルギー多消費型産業（重工業）は、既に省エネ化に尽力した企業運営をしており、これ以上の省エネ化・大幅な省エネ化は到底見込めない。その上に環境税などの負担を強いられば企業運営は成り立たなくなり、企業が事業から撤退、もしくは海外へ拠点移動するだろうことは予想に難くない。企業が撤退・海外移動をすれば日本国内のCO<sub>2</sub>削減は大幅に達成されるが、GDPは大幅な損失を蒙る。「CO<sub>2</sub> 25%削減」は現実的な方策とは言えない。

以上の理由から反対します。

住所：  
氏名： (印)  
年齢： 歳